

## イノシシ捕獲個体の齢査定結果及び体重・後足長との関係

イノシシは、一般的に体重やウリ模様の有無により幼獣・成獣を判断する場合が多い。しかし、体重は地域により基準が異なること、ウリ模様は時期により判断が難しいことから、歯の萌出状況から算出した週齢と体重・後足長の関係を分析し、今後の幼獣・成獣の判断基準となるかを検討した。

### 1. 分析に用いた捕獲個体サンプルと齢区分

捕獲個体の写真をもとに、下顎第3切歯の萌出状況から幼獣と成獣の区分を行った。下顎第3切歯が乳歯の場合は40週齢未満、永久歯の場合は40週齢以上とした。写真からは判断できない場合でも、体重（35 kg以上：成獣、20 kg以下：幼獣）や泌乳、胎子等から幼獣・成獣を判断できた個体は分析に用いた。なお、週齢の判読にはKODERA式イノシシ週齢読み取りマニュアルを用いた。

	成田地域			長生地域		
	幼獣	成獣	判別不可※	幼獣	成獣	判別不可※
平成28年度	4 (1)	8 (5)	0	8 (2)	30 (12)	3 (1)
平成29年度	17 (6)	5 (2)	1 (1)	17 (12)	9 (4)	1 (0)
合計	21 (7)	13 (7)	1 (1)	25 (14)	39 (16)	4 (1)

( )：全サンプル数のうちメスのサンプル数

※判別不可：手ブレ、ピント、撮影角度、口内の汚れ、口の開き方等により写真から判別ができなかった個体のうち体重等でも判別ができなかった個体

### 2. 週齢と体重・後足長の関係分析

歯の萌出状況から幼獣・成獣と判別された個体について、体重と後足長の関係を分析した。幼獣の体重は両地域ともばらつきが小さく、多くは20 kg以下であった。後足長は長生地域よりも成田地域の方がばらつきは大きく、幼獣と成獣で重複していることから判別基準を設定することは難しいが、おおむね15 cmが幼獣と成獣の判別基準となり得る。

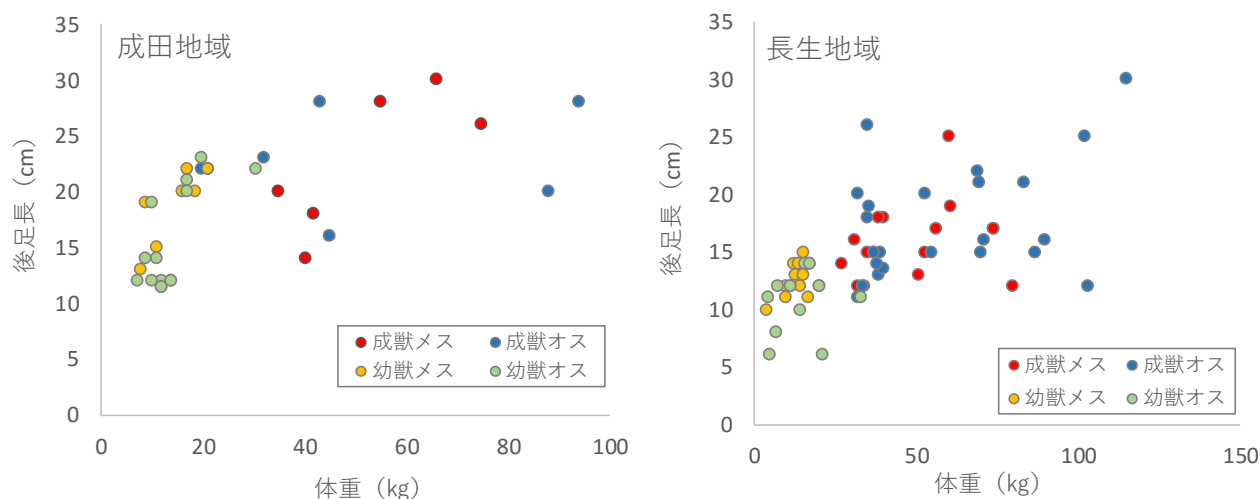


図1 捕獲個体の体重及び後足長

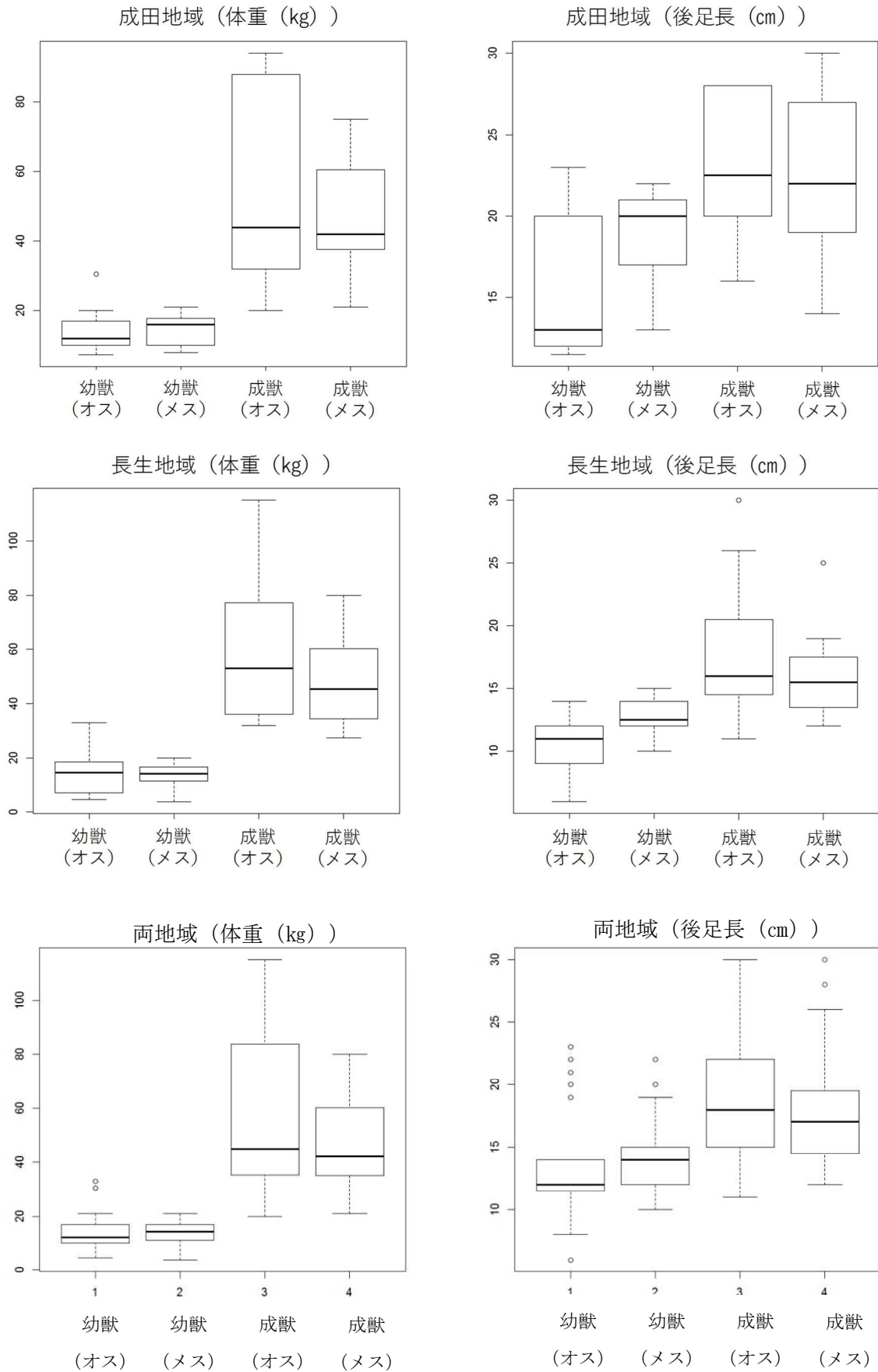


図 2 各性齢クラスの体重及び後足長の比較